

第3回 鶴岡市文化会館管理運営実施計画アドバイザー会議 会議録（概要）

日時：平成27年4月30日（木）

18時30分～20時40分

場所：鶴岡アートフォーラム 大会議室

〔協議事項〕	(1)「開館記念事業」について (2)「プレイベント」について
〔出席者〕	総合アドバイザー：草加叔也氏 地元アドバイザー：穂積恒雄氏、梅津芳春氏、柿崎泰裕氏、 伊藤裕美子氏 教育長 教育部長 社会教育課長 文化主幹 芸術文化主査 芸術文化係長 芸術文化係専門員 芸術文化係主事 芸術文化係芸術文化支援員
〔公開・非公開の別〕	公開
〔傍聴者〕	なし

1 開会（社会教育課長）

2 講話

総合アドバイザー：資料「開館記念事業の企画立案、選定について」による講話。

3 協議

(1)「開館記念事業」について

芸術文化係長：資料1・2により説明。

総合アドバイザー：開館まで約2年半程度の時期になってきましたので、事務局の議論の1つのたたき台として資料2を示していただいたと思います。お気付きの点、ここはこうしたほうが良いなどあれば、ご意見をいただけますでしょうか。

地元アドバイザー：資料2の開館記念事業のイメージに書いていない空きのところは、一般に貸し出すということによろしいでしょうか。

芸術文化係長：そのような形で考えております。

地元アドバイザー：このイメージを見ての感想ですが、文化会館に行ったことがないという市民が

たくさんいると思うので、開館してから1年の間に、市民の7割くらいから足を運んでいただけたということが、私はバランスの良い公演だと捉えていますので、それにあった考え方で進んでいけたら良いなと思いました。

地元アドバイザー：1年間のことを考えると出来る公演数は限られていると思うし、更に市民参加型の公演だと、年に1本か最大でも2本しか出来ないだろうと思います。クラシックだったらこんなことが考えられる、あるいは演劇だったらこういうものをこの時期に欲しいといったことを、最初は物凄く欲張った考え方を最初に並べて、そこから、出来る出来ない、あるいはこの館に相応しい事業かどうかということを経査していくということも重要だと思います。

総合アドバイザー：特におっしゃっていただいたのは、市民参加による公演で是非新しい檜舞台を踏んでいただきたい文化団体の方がたくさんいますよということですね。

地元アドバイザー：それに加えて、旧文化会館の時代から、この時期にはこの公演があるといった形で、すごく良く散りばめられています。そうすると、今度は自主事業が入ってくることで競合してしまう可能性もあります。つまり、今まで旧文化会館で行っていた貸館での事業と、これから呼んだり作っていききたい公演を1つの表の中に全て網羅したような部分でまとめていくと、良く見えてくるのではないかと思います。

また、この時期だったら人が来ないよということや、どこまでを対象層にするかも、もっと割り出していく必要があるのではないかなと思います。

地元アドバイザー：私はこれを見て、少し大変かもしれませんが、学校や他の施設と連携して一緒に事業をやれば、資金の面や色々な意味で相乗効果が絶対出てくると思いますので、そういうことが必要かと思いました。

2つ目は、若い人たちあるいはクラシックファン以外の人たちを集めるには、やはり有名な歌手から、どこかで来てもらう必要があると思いました。そういうことを考えながら、潜在的な鑑賞者を意識したPRであったり、あるいは引っ張り込むような視点が必要なのかなと思います。

地元アドバイザー：開館記念公演に、既存の市民団体の公募によるオープン参加枠もあってよいのではないかと思います。

総合アドバイザー：過去の公演を整理していただいて、その中でひよっとしたら、似たような活動をしている人たちを束ねて、この年は記念事業として一緒に何かの作品を創るということはあるかもしれません。それを市の主催事業にすることによって、その年だけは施設使用料がかからない形で公演をするとか。他にも例えば、数日間の市民参加ウィークのようなものを毎月作って、公募をしてそこに手を挙げてもらって、選ばれた団体は利用料金が無料で使えるといったことも

考えられます。

垣根を越えて合同で何かをやるということはあっても良いかもしれないですね。ちなみに、音楽団体ですと、こういったことは総じてやり易いのでしょうか。

地元アドバイザー：年間スケジュールが色々と決まっているので、2年ぐらい前に立ち上げて、2年後に合同しましょうというようなことであれば、やれないことはないです。

総合アドバイザー：コーラスでも自分たちの活動や発表の時期は、2年位前にスケジュールを決め始めるのでしょうか。

地元アドバイザー：ホールの予約がありますので、2年前くらいには決めています。

地元アドバイザー：記念事業のイメージ的に、どういったことが本当に市民に受け入れられるのかということですが、これは市民だけではなくて、県民、東北、全国からこの新しい施設へ鑑賞しに来るようなものを呼べないかと考えます。そういったことが、私は一番インパクトがあるのではないかと思います。

地元アドバイザー：バランスという意味で考えると、トップアーティストの公演というのは歌とか楽器とかガラコンサートが考えられますが、そうそうたるメンバーを何名か呼んだら面白いと思います。

地元アドバイザー：ガラコンサートは、地元では何も準備はいらないので凄く楽ですが、お金は必要です。私が考えているのは、音大を出たレベルの高い地元出身の若手の歌手が、今たくさん育ってきているので、例えばオペラの歌手を公募してオーディションで配役を決めて、コーラスも地元で公募をして育てていくみたいな形で、1つのオペラを作っていくと、ワークショップや練習もしなくてはいいませんが、新聞にも結構取り上げられたりするので面白いと思います。また、オーケストラピットを使うので、いわゆる新文化会館の機能の宣伝にもなるし、地元出身の出演者の良い宣伝にもなると思いました。

総合アドバイザー：オペラは結構大変ですが、神奈川県藤沢市に藤沢市民オペラという、伝統と格式がある有名な市民オペラがあります。ただ毎年やっているわけではなく、3年に1度程度で主役級はプロの方たちですが、その周りを取り囲むコーラスは市民の方たちです。カルメンですと児童コーラスや合唱団で子どもたちも参加するのですが、市民の誇りにもなっています。

地元アドバイザー：オペラの話をしみますと、山形大学にもオペラ専門で指導をしている教授がいますので、コンタクトを取りながら鶴岡を会場にして山大生からやっていただくということも、1

つできるのではないかと思います。

総合アドバイザー：オペラを観るという機会はそんなに多くはないと思うので、集客が大変かもしれませんが観ていただくのは凄く良いことだと思います。

地元アドバイザー：1回観るとやみつきになるというところがあるので。

総合アドバイザー：あんまり安くはないのですが、オペラの凄さとか素晴らしさは知って欲しいなと思います。

地元アドバイザー：旧市街地はいいのですが、合併して鶴岡市は非常に大きい市になったので、そういう遠いところの人たちにどのようにアプローチをするのか。これは少し考えていただききたいと思います。新しい文化会館が出来て良かったなど目を向けさせるためにも、そういう人たちにも気配りをして欲しいと思うので、よろしくお願いします。

総合アドバイザー：トップアーティストの公演でも、事前に何人かから来ていただいて、いくつかの地域を回ってアウトリーチのようなことをしてから、一週間後にコンサートをするという方法もありますので、そういうことも考えたほうがいいかもしれません。また、若い人の声も聞いたほうがいいかもしれませんね。

教育長：先日、酒田市の希望ホールで、有名なアーティストのコンサートがありましたが、県外からも多くの人に来ていて満杯でした。鶴岡の新しい文化会館はやっぱり素晴らしいと、全国に発信してくれるような人を呼ぶということも必要だと改めて思いました。

総合アドバイザー：もう1つ資料を用意していただいていて、2枚目にプレイベントというのがあります。これを少し説明していただけますか。

(2)「プレイベント」について

芸術文化係長：**資料1・2**により説明。

総合アドバイザー：ありがとうございました。今までのワークショップの中に出てきた話もいくつかあると思いますが、こんなことも出来るのではないかといたお話をいただければと思いますがいかがでしょうか。

今、自分が聞いていてですが、現場の進捗状況みたいなものは、高校の新聞部や市民サポーターの記録班みたいなところから書いてもらうという方法も良いのではないかと思います。

地元アドバイザー：今、鶴岡市役所の上から写真を撮っていると思いますが、竣工までの間の写真はあるという前提で考えていいでしょうか。

芸術文化専門員：はい、市役所の6階から1時間おきという形で記録はしています。

芸術文化係長：スカイツリーが、だんだん出来ていくようなイメージで撮っています。

総合アドバイザー：市民サポーターという組織は、記録を作るということもあるし、将来事業を行う時の客席案内をお手伝いしていただくような人たちの養成ということもあると思います。他にも壁面とか仮囲いに、場合によっては場所を区切って、学校のデザイン系の人たちから絵を描いてもらうということもあるかもしれません。

それから、オペラですと基本的にはスコアはあるという前提でやりますが、市民ミュージカルですと本を作る曲を作るところから始まるので、時間はかかると思います。

地元アドバイザー：少しずつやってもらっても、1年間はかかりますね。

総合アドバイザー：例えば2年かけてテーマ曲ができれば、それを歌いながら30分位のショーにしていくということであれば、出来るかもしれませんね。

地元アドバイザー：自分たちのことなのですが、今のところ3曲は出来ていて20分のものにしたのですが、今年もう1年かけて3曲増やして、6曲の1時間のものにしていくような算段でやっています。今年は地元の高等学校からも協力をしていただいて、すごく期待できる感じです。このように少しずつステップアップしています。

地元アドバイザー：放送児童合唱団のミュージカルは、作るのにどのくらいかかりましたでしょうか。稽古もあるでしょうし。

地元アドバイザー：ストーリーと歌詞は、半年で作りました。稽古はその後、3,4か月です。子ども曲は1曲が短いので、30分のミュージカルを作るのに、だいたい20曲作っています。

総合アドバイザー：それらを、市のオープニングイベントとして、スペシャルバージョンで作るということは可能性としてありますか。

地元アドバイザー：それを継続させて1時間半か2時間にして、出来ればやらせていただきたいと考えています。

総合アドバイザー：そういったことを場合によっては公募で手を挙げてもらって、冠を付けて行うのも良いと思います。上手くその一部分一部分をイベントとして見せていく、場合によってはアウトリーチのようにあちこちで見せていく。そういうことが出来れば、更に良いかもしれませんね。他に無ければ、進行を事務局にお返ししたいと思います。

4 その他

(1) 改築工事の進捗状況について

芸術文化係専門員：工事の進捗状況について説明。

(2) 今後のスケジュールについて

社会教育課長：次回のアドバイザー会議については、これまでの議論をまとめ、役所内部での調整後に開催することについて説明。

5 閉会

教育長：あいさつ

文化主幹：以上をもちまして、第3回鶴岡市文化会館管理運営実施計画アドバイザー会議を終了いたします。遅くまでありがとうございました。

以上